

中国語と文化B

(Chinese Language and Culture B)

担当教員

非常勤講師

中井 明

非常勤講師

根岸 美聡

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
外国語	1年次 後期	講義	1.5単位	選択

【概要】

中国語は現在世界で最も多くの話者を有する言語である。中国の世界経済・産業での重要性が増すにつれ、中国語を学ぶ意義は、日本において急激に増している。本授業では、中国語の発音と文法の基本と基本語彙を学ぶ。また、中国の文化をビデオ教材などを通じて学習し、同じ東アジアにあるが、日本とは異なる個性を有する中国の文化のイメージを受講生に伝える。

この授業は全て対面授業で構成する。

【授業の一般目標】

中国からの観光客が日本を体験する場面を通じて、中国語の発音・文法の基礎と基本語彙を学習する。また、中国文化について基本的知識を得る。

【準備学習(予習・復習)】

予習・復習として1週あたり150分程度の学習が必要である。授業前に、テキストの当該部分に目を通して発音を確認し、新出語句や文法事項の、テキスト本文中の所在等を確認しておく。また、授業後は、学習した課全体を音読し、例文と本文の意味と文法事項を再度確認し、練習問題などの宿題を完成すること。本文は繰り返し音読すること。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	第12課の語彙・文法のポイント・本文、文化概説(13)	中井・根岸	中国語の時刻の言い方などを学んで、中国文化についての新知識を習得する。
2	第13課の語彙・文法のポイント・本文、文化概説(14)	中井・根岸	中国語の進行の表し方などを学んで、中国文化についての新知識を習得する。
3	第12～13課の練習と応用、文化概説(15)	中井・根岸	第12、13課で習った表現を使って、会話などの応用を練習する。中国文化についての新知識を習得する。
4	第14課の語彙・文法のポイント・本文、文化概説(16)	中井・根岸	中国語の「できる」の表現などを学んで、中国文化についての新知識を習得する。
5	第15課の語彙・文法のポイント・本文、文化概説(17)	中井・根岸	中国語の結果・方向補語などを学んで、中国文化についての新知識を習得する。
6	第14～15課の練習と応用、文化概説(18)	中井・根岸	第14、15課で習った表現を使って、会話などの応用を練習する。中国文化についての新知識を習得する。
7	第16課の語彙・文法のポイント・本文	中井・根岸	中国語の様態補語などを学んで、応用を練習する。
8	第12～16課までの中間試験	中井・根岸	前半で習った語彙・表現を定着させる。
9	第17課の語彙・文法のポイント・本文、文化概説(19)	中井・根岸	中国語の可能補語などを学んで、中国文化についての新知識を習得する。
10	第18課の語彙・文法のポイント・本文、文化概説(20)	中井・根岸	中国語の「是～的」構文などを学んで、中国文化についての新知識を習得する。
11	第17～18課の練習と応用、文化概説(21)	中井・根岸	第17、18課で習った表現を使って、会話などの応用を練習する。中国文化についての新知識を習得する。
12	第19課の語彙・文法のポイント・本文、文化概説(22)	中井・根岸	中国語の「把」構文などを学んで、中国文化についての新知識を習得する。
13	第20課の語彙・文法のポイント・本文、文化概説(23)	中井・根岸	中国語の受け身の表し方などを学んで、中国文化についての新知識を習得する。
14	第19～20課の練習と応用、第17～20課の復習	中井・根岸	第19、20課で習った表現を使って、会話などの応用を練習する。さらに、後半の第17～20課の総合復習をする。
15	総括・まとめ		

(書名)

(著者・編者)

(発行所)

教科書 ニーハオ！ニッポン！ - ふりむけば、 相原茂、朱怡穎
中国語。

朝日出版社

【成績評価方法・基準】

平常点（授業態度、授業内小テスト等）30%、試験（中間試験、期末試験）70%

【評価のフィードバック】

講評は授業中や掲示にて公開する。